

3 年 5 月

■一般文学

「1 日 10 分のごほうび ～NHK国際放送が選んだ日本の名作」

- ・著：赤川次郎、江國香織、角田光代、田丸雅智、中島京子、原田マハ、森浩美、吉本ばなな
- ・出版社：双葉社

NHK WORLD-JAPANのラジオ番組で、世界 17 言語に訳して朗読された小説の中から選りすぐりの短編を集めたアンソロジーです。日本を代表する作家たちの作品は、タイトル通りご褒美感が満載で、弱った心にも優しく寄り添ってくれます。

定年退職した 2 日後に妻を亡くした夫が、残された妻のレシピ帳を見ながら料理をはじめ「妻が椎茸だったころ」。正月明けの仕事始めの日に母親の気持ちに押されて振袖で出勤する「仕事始め」。お爺さんとお婆さんの会話があたたくせつない「晴れた空の下で」…。

何度読み返しても飽きることなく、そのたびに心の隙間を埋めてくれる小さな物語たち。お気に入りの作品、そしてお気に入りの作家さんに出会えますように。同シリーズ「1 日 10 分のしあわせ」「1 日 10 分のぜいたく」もぜひ手に取ってみてください。

(対象 一般)

■一般書

「ひとり酒、ひとり温泉、ひとり山」

- ・著：月山もも
- ・出版社：KADOKAWA

美味しい料理やお酒、心地よい旅館や温泉、登山で得た絶景。ひとりで行動することにより、どれもが印象に残り、思い出深いものになります。

著者の月山ももさんは、3. 11の震災をきっかけに登山道具を揃えようと決めます。準備を進めていくうちに、初めて軽装で登山した日、いきなりの展開に戸惑いながらも、登った瞬間を思い出し、震災で鬱々としていた気持ちが晴れていきます。

コロナ禍により、多人数で思うように出かけられない昨今です。この本でひとり行動の楽しみ方を知り、気ままな旅や食事をしてみませんか。

(対象 一般)

■児童書

「漫画.君たちはどう生きるか」

- ・原作：吉野源三郎
- ・漫画：羽賀翔一
- ・出版社：マガジンハウス

「自分の生き方を決めるのは自分だけだ」、明治・大正・昭和を生きたおじさん(作者)が、甥っ子のコペル君と一緒に、毎日の生活の中でおきるちょっとした出来事や悩みについて、ノートを使って考えてアドバイスしてくれます。くよくよ悩んで周りに流されてしまった時、弱いものいじめをしてしまった時、自分を見失って死にたくなってしまう時、どんな気持ちなのか、どうしたら良いのか、自分はどうしたいのかが言葉で表現されており、「生きる」について考えさせられる一冊です。

80 年の時を経て初めてマンガ化された本、時代の背景は違っても、今を生きる子供たちに十分共感できるお話です。どこかでこの本を見つけたら是非、手にとって読んでみて下さい。繰り返し何度も読み返したくなる一冊です。

(対象 小学高学年から)

■絵本

「ぼくは あるいた まっすぐ まっすぐ」

・作：マーガレット・ワイズ・ブラウン

・絵：林明子

・出版社：ペンギン社

ある春の日、男の子が一人でおばあちゃんの家に行くことになりました。最初は、ちょっぴり不安だったけど、さあ、冒険の始まりです。

教えてもらった通りにまっすぐまっすぐ進みます。

「これは何だろう」「こうすればいいんだ」と驚いたり、考えたりしながらまっすぐ進みます。

無事におばあちゃんの家にとどり着くのでしょうか。

思わず男の子の可愛いしぐさに微笑んでしまいます。暖かい春の日差しを感じながら、絵本の男の子と一緒にまっすぐ歩いて楽しんでください。

（対象 幼児から）